

令和7年度 第7回新宮町上下水道事業経営審議会会議録

日	時	令和7年5月22日（木） 15時00分から16時20分まで
場	所	新宮町役場 3階 第2委員会室
出	席 者	会長 松藤 賢二郎
		副会長 園 弘子
		委員 4名
欠	席 者	委員 2名
議 事 の 経 過		
会	長	【開会】 開会あいさつ
会	長	【本審議会の成立の報告】 委員8名のうち6名出席により過半数に達し、新宮町上下水道事業経営審議会 条例第6条により、本会が成立することの報告。
事	務 局	【事務局説明】新宮町水道事業経営戦略改定案について ○新宮町水道事業経営戦略改定案について説明。 （資料1） 経営戦略改定案の事業概要、将来の事業環境、経営の基本方針、投資・財政計画 の説明。
委	員	【質疑応答】 老朽管がどこに布設されたかは把握しているのか？
事	務 局	老朽管の位置は分布図で把握している。1970年の管から年度ごとにマッピングして おり、年度末に集計を行っている。
会	長	老朽管の割合が30%なのは、他の自治体と比べて高いのか？
事	務 局	新宮町は50年を経過する管が多くなっているが、新宮町より早く水道事業を進めて いる自治体が多いため、他の自治体の方が老朽化は進んでいるのではないかと 思う。管と繋ぎ目の耐震化も進めていく必要があるため、鋳鉄管や、融着して一体化 となるようなポリエチレン管を使い新しい管に更新している。 50年を経過した管が新宮区にあったが、昨年度までに全て更新は終わっている。一 番古い場所かつ漏水事故があった所を優先的に布設替えしている。
委	員	施設利用率71%とはどのような意味なのか？
事	務 局	既存の水道施設の利用率で、どのくらい活用しているか示している。

委	員	開発や、土地区画整理事業が進むと施設利用率は上がるのか？
事	務	局 土地区画整理事業が進むと利用率は上がるが、最大の施設能力は上回るほどは予定していない。
会	長	投資・財政計画を見ると大きな投資は予定していないのか？
事	務	局 大型の投資は予定していない。
副	会	長 1日の生活水量について、かつては260ℓ程度とあったが現在は3～4割程度減っており、今後の見込みは同じで良いのか？
事	務	局 キッチン、器具などが節水になったため減っているが、現在をベースとして見込みを立てており、どこかの段階で見直していく。
副	会	長 トイレを流す水は14～15ℓだったが、今は4ℓで今後もおそらく減少する。収益も減るため、見込み数字も変更した方が良いのではと思った。
事	務	局 【事務局説明】 経営改善に関する取組 ○経営改善に関する取組について説明。 (資料2) 上下水道事業の業務効率化と費用削減効果が高い内容について説明。料金請求を毎月から検針月のみに変更、消費税の負担の適正化、日割り計算の導入など各検討項目について見直した場合の効果を説明。
委	員	【質疑応答】 経費節減の取組は意義があり賛成だが、今後は収入面がどうあるべきかを考えていかなければならない。また、上下水道事業を持続していくための体制がどうあるべきか、併せて財源の確保も見据える必要がある。
事	務	局 現状の収支計画を見ると、上下水道事業を今後持続できるかとなると、今後の経営状況は厳しく、期末現金が充分に残らない状況になりかねない。従量料金のみ上げた場合や基本料金・従量料金どちらも上げた場合など、いくつかのパターンの料金体系でシミュレーションをしている。その中で、令和16年までに水道事業の期末現金残高が、現状よりも2億円程度増える想定をしている。
副	会	長 監査法人が、25年継続できるにはどのくらい値上げが必要かという推計資料を出しており、70%弱の自治体で50%未満の水道料金の値上げが必要だという調査結果が出ている。また、広域化をした事による値上げについて、25年先の維持という推計だと、どの市町村も大体3割くらいは値上がりしていく。
委	員	電気やガスはどんどん上がっている中で、上下水道料金は公共サービスの面で上げ

		難しいと思われるが、そろそろ上下水道料金見直しに手を付けないといけない時期が来ている。
副	会 長	水道料金値上げの反対署名が起きた自治体もあるため、どのように町民に危機的状況を伝えるかを考えていく必要がある。
委	員	水の節約やウォーターサーバーなどで水道の使用量が減っていると思うが、水道の使用量を増やすことで収入を増やす方法も検討して良いのではないかと思う。
会	長	企業債残高が8～9億円あり、利息の支払いだけでも多額だと思うが、利息の圧縮はできるのか？
事	務 局	借り換えが考えられるが、条件等の関係で利息を減らす事は難しい。今後も企業債借入も予定しており、利息も増えていく想定となる。
会	長	支払利息の水準は収入に対して適正なのか？
事	務 局	適正かどうかの調査はしていないが、不必要な借入は行わず、老朽管の更新の財源として必要な借入を行っていく。
事	務 局	【事務局説明】 その他
		次回候補日及び予定内容（水道事業経営戦略改定について）
会	長	【閉会】
		以上